

 ころ、つなぐ、ならは、明日へ!!

広 報

ならは

2018 MAR 第578号

3

特集

嗚呼、仮設住宅

いいまちつくるマン

嗚呼、 仮設住宅

平成23年3月11日

経験したことのない激しさ
で、東日本大震災は私たちの
日常を唐突に襲ってきまし
た。大地を揺さぶり地面を裂
いた地震と、その後に起こる
原発事故により、私たちは着
の身着のままわが家を追わ
れました。あの日以降、私た
ちは明日をも知れぬ、長く不
安な時期を過ごすことにな
りました。

「仮のわが家」

体育館などの一次避難所、
ホテルなどの二次避難所での
自由の乏しい生活を経て、応
急仮設住宅や借上げ住宅等へ
の入居が始まったのは、震災
から3か月後のことでした。
狭く簡素であつても、その
場所は、だれにも気兼ねする
ことなく手足を伸ばすこと

ができる、ようやく得ること
ができた「仮のわが家」だった
のです。

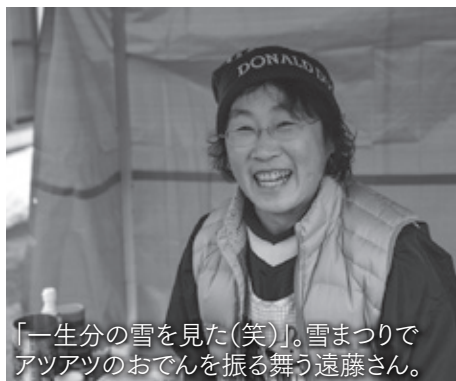
新たなつながり

なかでも多くの方が肩を
寄せ合うように暮らしてきた
応急仮設住宅。集い、語り、励
まし合つて不安な日々を過ご
してきた特別な場所には、や
がて新たな人のつながりが芽
生えました。同じ不安を抱
え、支え合つて暮らしてきた
仮設住宅でのつながりは、いつ
しかその場を離れたいもの
にさえ。

応急仮設住宅の供与が終
了し、町民の皆さんがそれぞ
れの生活を再建されるこの
春、榎葉町は大きな節目を迎
えます。避難生活で結ばれた
温かな絆をほどこことなく、
これからも人と人が深くつ
ながり続けていきますように。

遠藤由起子さん

会津美里宮里応急仮設住宅



「一生分の雪を見た(笑)」。雪まつりでアツアツのおでんを振る舞う遠藤さん。

主人は仕事でいわきにいましたので、私と3人の子どもたちが会津で過ごしました。仮設に入居した頃、子どもたちはそれぞれ高3、中3、小6でしたが、進学などで一人ずつここから巣立っていきました。会津を離れるタイミングもあったかもしれませんが、子どもたちが育った場所に、子どもたちが帰ってくる場所を残しておきたいと思い、私は会津に留まりました。

復興が進むにつれ、会津の仮設には人が少なくなりま

楠ヨシノさん

作町一丁目応急仮設住宅



お花が大好きで、触ったり話しかけたりして育てるそう。隅々までおそうじの行き届いたお部屋の前で。

作町の仮設住宅に来て6年になります。ここでは、朝8時半に集まってみんなでラジオ体操をします。1回ではなく、運動のために2回繰り返しやるんです。ラジオ体操でみんなが顔を合わせるの安心なことでした。そして、集会所でお茶を飲んだり、ご飯を食べたりしながら、皆さんとおしゃべりするのが本当に楽しかったですね。いろいろ話したり聞いたりするので情報にも困りませんでしたが、仮設住宅にもいいところがたくさんありました。

した。でも、人と人とのつながりがとても深いところ。自治会では夏祭りや雪まつりなど、みんな協力して仮設を盛り上げてきました。思い出は尽きません。私たちが温かく受け入れてくれた会津美里町の皆さんとも7年の間に深い絆が生まれ、離れがたい「第二のふるさと」になりました。

それにしても、人生は不思議。自分がこんな雪国で暮らすことになるなんて、想像もできませんでした(笑)。避難の最初の頃は、これからどうなるのか見当もつかず、だれもが不安でした。でも、私たちは仮設で暮らすようになり、そこで食事を作って食べ、そこから通学し、また一から新しい日常をつくりあげてきたと思います。

さまざまなことがありましたが、今は7年間のすべてを「貴重な経験をした」と思うことができます。

仮設住宅は檜葉の人しかいませんから、それだけでも安心しましたし、いろいろな思い出ができて、今では皆さんとお別れが寂しいです。私は、両隣の部屋の2人と大の仲良しなんです。私たちは仲良し3人組で、ご馳走を作ったり、美味しいものをいただいたりすると、いつも3等分。何でも話して相談できる大事な大事な友だちになりました。「ぎりぎりまで3人一緒にいうね」ということで、私たちはお彼岸の頃、同時に引っ越そうと決めています。

私は檜葉が大好きで、主人と苦労して建てたわが家に絶対帰りたいと、ずっと思い続けてきました。わが家には他所では味わえない自由があります。檜葉に帰ったら、近所の人とたくさんお話したいですね。そして、お花が大好きなので、庭いっぱい、思う存分、花を作って暮らそうと思っています。

規則的に並ぶ応急仮設住宅——。同じ窓、同じ間取りでも、その一軒一軒に、さまざまな思いを抱えた人々の暮らしがありました。

鈴木一郎さん

高久第8応急仮設住宅



壁にはお孫さんからの手紙や写真がたくさん。妻の壽美世さんと、とても仲よし。

私は本鉾の炭鉾の長屋で育ちました。当時は義務教育が小学校だけでしたから、私は13歳から炭鉾で働き始め、70年そこで暮らししました。ボロ屋でも、自分が育ち、子どもたちを育てたあの家に帰れたかったのですが、そこに帰ることができなくなり、広野町にある復興公営住宅に移ることになりました。

震災後、私たちはお陰様で4人の子どもたちに助けられて、最初の4年ほどは県外で過ごしました。

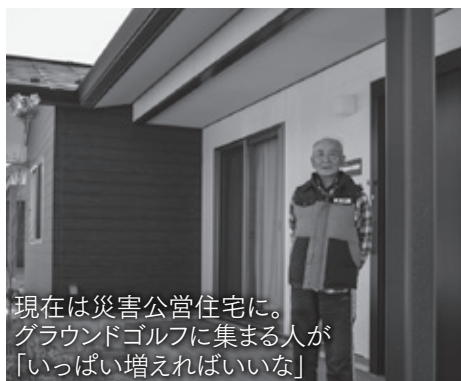
仮設住宅に入居したのは3年ほど前です。仮設住宅の狭さは、最初は気になりましたが、すぐに慣れましたし、「元々、仮設なんだから」と諦めがついていたので、不満は感じませんでした。あんなひどい震災を経験しても、高齢ながら私たち夫婦は何とか元気に過ごしていて、それだけでも「めっけもんだ」と2人で話しています。

ただ、4畳半二間では、せつかく娘たちが来ても寝る場所もないことが残念でした。一番の楽しみは、近くの幼稚園に通っているひ孫が、幼稚園帰りにここに寄ることです。

本当は檜葉に帰りたいかった。心ならずもわが家に戻ることができずに残念ですが、4月から住む復興住宅は3LDKあります。私たちのほかに檜葉の方がいるので心強いですし、子どもや孫たちがまた泊まりに来て、楽しく暮らしていけると思っています。

渡邊鐵雄さん

高久第9応急仮設住宅



現在は災害公営住宅に。グラウンドゴルフに集まる人が「いっぱい増えればいいな」

震災前は青果店を営み忙しく仕事をしていたので、避難したばかりの頃はじっとしていることが一番づからかったです。ですから、仮設住宅でも震災前からやっていたグラウンドゴルフを始めました。参加者は50人ぐらいたでしようか。部屋に籠もっていると悪いことばかり考えてしまいますが、屋外に出ていろいろな人と話しながらプレーするのは楽しいです。そのおかげでストレスも吹っ飛び、こうして元気に檜葉に帰って来れたんだと思います。

「住めば都」と言いますが、人間は良くも悪くも環境に馴染んでしまうものです。うちは男所帯なので、仮設では近所の方が「多めに作ったから」とおかずを持ってきたり、仮設ならではの良さもありました。

ただ、仮設にいる時は、「いわき市の皆さんに迷惑をかけたくない」と思って生活していましたので、やや窮屈さや気疲れを感じていました。私は年末に檜葉に帰ってきましたが、今は自由のびのびした気分を感じています。

だんだん檜葉に帰ってきた人も増えているので、今年は檜葉まなび館でグラウンドゴルフをやっています。もう30人以上になりそうです。これから檜葉に戻られる方もいっしょにグラウンドゴルフ、やりましょう。待ってますよ！

仮設住宅は、プライバシーを確保しにくいという短所もある反面、私たちは、入居されている方同士がしっかりとつながり、支え合ってきた場面をたくさん見てきました。仮設住宅全体がひとつの大きな家族のようでした。

私たちも仮設住宅がなくなって寂しくなります。大変お世話になりました。

最初のうちはいろいろなトラブルがありました。が、やがて時間がたつと、入居者の皆さんは「みんなで生活しているのだからルールを守らなくてはならない」ということをわかってくださり、私たちにもだんだん心を開いて、頼りにしてくださるようになりました。

では壁一枚向こうに別の家の人が住んでいるのですから、気を遣ったり不満を持たれたりしたのは、当然だったと思います。



生活支援相談員の岩渕さん(左)と小松さん(右)

生活支援相談員から

仮設住宅ができて

最初の一、二年は、皆さんからの苦情が多く、声をかけてもらえばしつこい言葉が返ってきました。不安からのことだったと思います。櫛葉では広々とした自宅で暮らしていたのに、仮設では壁一枚向こうに別の家の人が住んでいるのですから、気を遣ったり不満を持たれたりしたのは、当然だったと思います。



みんなが波乱万丈。大変だったね
最初は「こんなところ」と思ったけど、
終わりよければすべてよし
共同生活のようだった
仮設には助け合いがあった
いつも高齢者を気にかけて、
互いに励まし合ってきた
声を掛け合って、みんなで支え合ってきた
それが仮設の暮らし方
ここには櫛葉の人しかいないから、
気持ちを通じ合う
苦しい思いをしたけれど、
ここに集まるとストレスが消えた
みんなの協力は一生の宝物だよ
仮設には常に「人の目」がある。
安心と窮屈が両方あるところ
残りわずか。みんなとの別れは寂しいよ
櫛葉に帰ったら交流館でまた会おう
櫛葉に帰っても助け合おう
これからも笑って頑張ろう

孤独を、不安を、包みこみ、
支えたのは人の輪。
ここで支え合ったことを
私たちは決して忘れない。

応急仮設住宅の概要

応急仮設住宅の供与は、災害救助法に規定されている救助の一つで、「自らの資力では住宅を確保することができないものに対し、簡易的な住宅を仮設し一時的な居住の安定を図る」ことが目的とされています。福島県内の仮設住宅は、市町村の要請に応じて県が建設し、櫛葉町の仮設住宅は、会津美里町1か所といわき市13か所が建設されました。

仮設住宅では、寒さ対策とし

て、壁の内断熱化、窓の二重サッシ化、暖房便座の設置、エアコンの追加設置、基礎周り塞ぎ、給水管凍結防止ヒータの設置などの追加工事が行われたほか、要望に応じて手すりやスロープの設置等のバリアフリー対策も講じられました。

また、各仮設住宅には談話室や集会所、多目的広場が設置され、入居者の孤立を防ぐためそれらの場は交流に供され、仮設住宅連絡員(現在の生活支援相談員)が毎日、全世帯を訪問しました。



施設名	入居開始	入居者
会津美里宮里	平成23年6月	248世帯487人
高久第5	平成23年7月	15世帯40人
中央台飯野	平成23年7月	18世帯38人
高久第6	平成23年6月	17世帯35人
高久第8	平成23年7月	122世帯250人
高久第10	平成23年7月	200世帯458人
高久第9	平成23年7月	191世帯401人
上荒川	平成23年9月	237世帯473人
内郷白水	平成23年10月	60世帯125人
作町一丁目	平成23年10月	57世帯126人
四倉町細谷	平成23年10月	40世帯81人
常磐銭田	平成24年3月	46世帯141人
小名浜林城	平成24年7月	102世帯231人
小名浜相子島	平成25年2月	38世帯70人

※世帯数・入居者数は平成26年3月時点(会津美里宮里は平成23年8月時点)

応急仮設住宅の備付物品の譲与のお知らせ

仮設住宅担当の遠藤です。

現在、応急仮設住宅に居住している方が退去される際、希望者には、エアコン、照明器具、カーテン、消火器を譲与しています。今後は一般の方を対象に、これらの物品の譲与を募集する予定です。なお、詳細が決まりましたら「お知らせならは」3月号に掲載しますので、お問い合わせ等は発行後にお願いします。



●前日までにすること					
旧居（避難先）	check	手続き内容	新居（ふるさと檜葉）	check	手続き内容
	☐	ご近所へのあいさつ		☐	ご近所へのあいさつ
	☐	電気のブレーカーを落とす		☐	電気のブレーカーを上げて、通電確認。
	☐	ガス使用停止の立会い		☐	使えない場合は、東北電力が立会いのもとで送電開始する。
	☐	電気・ガス・水道の清算		☐	ガス開栓には立会いが必要。
	☐	忘れ物チェック		☐	開栓手続き後、水道の使用を始める。
	☐	鍵の返却		☐	水道の使用開始

●帰町後、1～2週間以内に		
check	手続き内容	備考
☐	帰町の手続き	町くらし安全対策課(☎0240-23-6109)へ届け出。
☐	公共料金の引き落とし手続き	自動引き落としは通帳・届出印を持参のうえ手続き。
☐	自動車・自動二輪の登録変更	車両使用の本拠地が避難先に登録されている場合、自動車は運輸支局いわき支所へ手続き。軽自動車、自動二輪は各所へ手続き。
☐	運転免許証の住所変更	運転免許証に避難先の住所が記載されている場合、双葉警察署臨時庁舎(道の駅ならは)(☎0240-25-1500)へ届け出。
☐	ペット類(犬)の登録変更届	印鑑、旧鑑札、狂犬病予防接種書を持参し、30日以内に町くらし安全対策課(☎0240-23-6109)で登録手続き。

●帰町後、希望する方は		
check	手続き内容	備考
(希) ☐	水道水の検査	水道水を安心してご利用いただくために、ご家庭の蛇口から出る水道水の放射性物質検査を無料で実施している。希望者は、水道企業団(☎0240-25-5341)へ連絡。
(希) ☐	自家消費用食品等の検査	町内で採れた食品や井戸水等の放射能簡易検査を実施している。希望者は、農林水産物処理加工施設(☎0240-23-6557)へ持参、もしくは町産業振興課(☎0240-23-6104)へ連絡。
(希) ☐	帰町支援事業補助金	県内外の仮設住宅等に2年以上入居された方が、檜葉町の自宅等へ帰町した場合が対象。 退去から3か月以内に申請してください。 ・県外からの移転 複数世帯が10万円 単身世帯が5万円 ・県内からの移転 複数世帯が5万円 単身世帯が3万円 申請手続きは、くらし安全対策課(☎0240-23-6109)
(希) ☐	生活再建完了給付金	檜葉町以外に自宅等の再建が完了し、平成30年3月31日までに仮設・借上げ住宅を退去した世帯が対象。 ・複数世帯が5万円 単身世帯が3万円 申請手続きは、くらし安全対策課(☎0240-23-6109)

【主な問い合わせ先一覧】			
●各種お問い合わせ			
項目	名称	電話番号	受付時間等
電 話	N T T 東日本	116	固定電話から
		0120-116-000	携帯電話から
電 気	東北電力(株)コールセンター	0120-175-655	
水 道	双葉地方水道企業団 ・総務課営業係(開栓) ・施設課浄水係(検査)	0240-25-5315 0240-25-5341	平日8:30～17:00
N H K	N H K ふれあいセンター	0120-151515	
食 品(検査)	自家消費用食品等の放射能簡易分析測定所	0240-23-6557	平日8:30～17:00
生 活 再 建 コ ー ル セ ン タ ー	ハウスクリーニング	0240-25-8111 (受託業者: ならはみらい)	平日9:00～17:00
	・家屋片付け ・家周り除草		
	空家・空き地バンク		
交 通	檜葉タクシー助成(受託業者: 檜葉タクシー)	0240-25-2131	8:00～17:00
病 院	ふたば復興診療所 (ふたばリカーレ)	・内科(月～金) ・整形外科(月・水・木) ・火～金	0240-23-6500
	ときクリニック	・内科(火～金)	9:30～12:00 13:30～16:00
	蒲生歯科医院	・歯科(月～金)	9:30～12:00 14:00～16:00

Are you ready?

どうぞ、ご無事にお引越しなさってください。



いよいよ今月末で応急仮設住宅や借上げ住宅などの供与期間が終了します。住み慣れた場所からの転居は、心身ともに大きな負担に思われますが、無事にお引越しが完了し、皆様がそれぞれの場所で生活を再建されますことを願っています。同時に、一人でも多くの方がふるさとに戻られることを心からお待ち申し上げております。

進学や就職の時期とも重なり、多くの世帯が引越しをされます。円滑に移動するためには事前にさまざまな手続きが必要です。次のチェックリストを参考に、もう一度、忘れていないかご確認ください。

※(希)…必須ではありません。希望者が対象です。

●すでにお済みでしょうか？		
check	手続き内容	備考
☐	引越業者の発注	混み合うため、まずは予定を相談するところから。
☐	就学手続き	①避難先の教育委員会(私立の場合は学校)で転学受理通知書を受け取る。 ②在学中の学校へ転学受理通知書を提出し、在学証明書・教科用図書給与証明書を受け取る。
(希) ☐	粗大ごみの処分	檜葉町の自宅から出される粗大ごみは、自身で南部衛生センターへ持ち込むか、回収を依頼してください。南部衛生センター(☎0240-25-4609)
☐	避難先の粗大ごみの処分	避難先で生じた粗大ごみは、避難先の各市町村に処分方法を確認。 【参考】いわき市は、電話申込による有料収集を受付している。 北部地区大型ごみ受付センター(☎0246-34-0053)、または南部地区大型ごみ受付センター(☎0246-92-0053)
☐	家電製品・パソコンの処分	エアコン、テレビ、冷蔵庫、洗濯機、衣類乾燥機、パソコン等は原則購入した店に処分を依頼。
(希) ☐	自宅の清掃費補助(ハウスクリーニング)	震災前までお住いだった自宅家屋内の清掃を行う場合、町ではその費用の一部(15万円を上限)を助成する。希望者は、窓口(☎0240-25-8111)へ申請。
(希) ☐	自宅の片付け等支援	家屋内の片付けや放射線測定及び家周りの除草作業について、希望する場合は、窓口(☎0240-25-8111)へ申込。

●10日前までに		
check	手続き内容	備考
☐	郵便物の転送手続き	郵便局の窓口にある転居届に必要な事項を記入して投函、またはインターネットで手続き。
☐	電話の移設手続き	固定電話から ☎116へ、携帯電話からは☎0120-116-000へ連絡。

●1週間前までに		
check	手続き内容	備考
☐	電気の移転手続き	避難先の電気について、電力会社へ電話等で移転手続き。 【参考】東北電力コールセンター(☎0120-175-655)
☐	ガスの移転手続き	避難先のガスについて、各ガス会社へ電話等で閉栓作業依頼(場合により作業時立会いが必要)。また、新居のガス会社に開栓の予約。
☐	水道の手続き	避難先の水道について、水道局、または市町村役所の水道課に電話等で使用停止手続き。
☐	N H K の住所変更届	N H K ふれあいセンター(☎0120-151515)へ電話、またはインターネットで手続き。
☐	就学手続き	①檜葉町教育委員会の窓口(檜葉まなび館)(☎0240-23-6190)へ届け出る。 ②檜葉町の学校へ入学通知書・在学証明書・教科用図書給与証明書を提出する。

最後の雪まつり、 過ぎた日々想う

2月10日、会津美里宮里邸
急仮設住宅で、自治会の皆さ
んが毎年開催してきた「なら
は雪まつり」が今年も盛大に
行われました。

会津美里町の渡部英敏町長
をはじめ、お世話になった
警察署や社協の方、毎年餅
つきの実演でまつりを盛り
上げていただいた赤留さくら
会の皆さんなど、会津美里町
からも多くの方に参加してい
ただき、最後の雪まつりで
名残りを惜しみました。

赤留さくら会の皆さんが
威勢よくついたお餅は、納豆
や大根おろしなどをまとわ



され、次々と皆さんの胃の中
に収まっていきました。

住民の皆さんは、町長を囲
んでこの7年間の思い出話を
したり、子どもたちは、この日
のために作られた巨大な雪山
を、何度も何度も飽きずに
ソリを滑らせていました。



浦和レッズレディースがサッカー教室

2月3日、浦和レッズのレディー
スチームが総合グラウンドで、こども
もサッカー教室を行いました。
約100人の小学生が参加し、選手
とサッカーを楽しんだ後は、冷えた体
をマミー suit で温めました。

その後、レッズレディースの皆さん
はJヴィレッジを訪れ、施設の
現状を視察しました。チームには
JFAアカデミー福島出身の選手
らも在籍しており、中学時代に過
したなつかしいJヴィレッジの
再開が7月に決まったことを大変
喜んでいました。



旧タブレットが五輪メダルに

避難生活が続く中、
タブレットは、リアルタ
イムに町からの情報を
住民の皆さんにお伝え
してきました。老朽化
などのため昨年度で使
用を終了し、端末を回収
していましたが、このほど
町は、これらの端末を
2020年東京五輪・
パラリンピックのメダル
の一部に再利用していた
ため、約1000台

を大会組織委員会に提
供しました。

これにより2月2日、
町は同委員会から感謝
状を贈呈されました。
2年後に迫った東京
五輪・パラリンピックに
参加できたようで大変
光栄です。私たちが情報
をつないだタブレット
端末が、どんなメダルに
生まれ変わるのか楽し
みです。



ICTの活用でさらなる学力向上

教育におけるICT(情報通信技術)の活用
は、学習への興味や関心を高め、生徒の主体
的な学びを実現する上で高い効果があると
されています。

1月25日、ICT教育に力を入れている檜葉
中学校では、教職員を対象としたICT活用
公開授業が行われ、聖心女子大学の益川教授
をお迎えし、ご講演もいただきました。

数学の公開授業が行われた中学2年生の
教室には、他校の先生方が多数来校され、授業
の様子をご覧になりました。生徒たちはやや
緊張していましたが、多くの先生方から意欲的
な学習態度にお褒めの言葉をいただきました。



なじみの店がいい

上荒川応急仮設住宅内に設置されている、
理容店と美容店の集合店舗「ふれあい広場」。
仮設住宅の終了に伴い、「ふれあい広場」も3月
下旬、閉鎖されます。

閉鎖を前に訪ねてみたところ、「なじみの店
がいい」と、気心の知れた「ふれあい」を求め
て、お客さんたちが順番を待っていました。
小気味よくハサミを動かしながら、お客さん
と笑顔で会話。「檜葉からわざわざ通ってくだ
さるお客様もいて、本当にありがたかった」
とお店の方。

ふれあい広場の5店舗は春からは町内で
営業されるそうです。これからも「なじみの
店」で心も髪もスッキリと。



「檜葉の風」、 金澤翔子先生が揮毫

町内で生産された酒米
を原料に、現在、会津美里
町の白井酒造店で製造し
ている日本酒「檜葉の風」
は、4月の販売開始を予
定しています。

販売を前に、容器の
ラベルに使用する題字を、
書家の金澤翔子先生に
揮毫していただきました。

2月25日、町長は渡辺清
町商工会長とともに東京
へ赴き、金澤先生から直接、
題字を受け取りました。

金澤先生は障がいを持
ちながらも、NHK大河
ドラマ『平清盛』の題字を



タンタンペロペロ、なくせない。



高橋秀夫 上小埜行政区長

上小埜といえば、義団を中心に行われる大瀧神社の浜下りが有名です。福島県の重要無形文化財にも指定されている旧木戸村全体の一大イベント、今年は震災後初めて神輿が繰出します。300年以上も変わらず、肅々と守られてきた伝統を「なくせないもの」と話される高橋区長。地域の皆さんの熱い思いがあれば、春の風物詩が、震災前のような本来の姿を取り戻す日は必ずやって来ます。

なくせないもの

五日間にわたって行われる大瀧神社の浜下りは、子供の頃、私たちにとって本当に特別な日でした。八幡様の境内には祭りの幟や露店が並び、友だちと競い合うように学校から走って帰って、下がってくる神様を迎えに行ったものです。

上小埜では、昔から祭りが近づく子どもから老人までみんないっしょに集まって、祭りの準備をしてきました。そこで子どもたちは、年配者から花の葺き方やしきたりなどを学び、こうして今日まで伝統が引き継がれてきたのです。



上小埜に生まれ育つ人は、幼い頃は子ども神輿を担ぎ、やがて老いてはわが家の門口で行列を見送ります。ここに生まれた人にとって浜下りは「なくてはならない、なくせないもの」なのです。

そのままに

震災以降、浜下りは神事のみ執り行われてきましたが、地域の皆さんから「そろそろ神輿を」という声もあり、下小埜と前原行政区も参加してくれるということで、今年は8年ぶりに神輿が下がります。下小埜から前原をまわって、檜葉まなび館を旅所とし、浦安の舞も奉納されます。以前のように、町の皆さんにも行列といっしょに歩いていただければ大変うれしいことです。

古来、旧木戸村全体で守り続けてきた伝統を、私たちも若い世代に引き継いでいかなければなりません。震災後

はまだ簡略化して行っていますが、できるだけ早く本来の姿に戻していきたいと思っています。私たちが親の世代から昔のまま変わらず、そのままに継承したように、再びそのま

ま若い世代に残したいのです。ぜひおいでください。

4月8日
(日)

大瀧神社の浜下り

10:00 木戸八幡神社→下小埜→前原→ 11:30頃 旅所(檜葉まなび館)



シリーズ復興 23

ならは、
まず一歩。

人生の最期まで

第3回地域包括ケアシステム構築推進シンポジウム ならコレ(ならはコミュニティコレクション)2018

2025年には団塊の世代が75歳以上となり、日本では介護・医療・福祉のサービスが不足することが予想されています。このため、国は、高齢者が住み慣れた地域で最期まで生活できるような仕組みづくり(地域包括ケアシステム)を各自治体に呼びかけています。

檜葉町でも、「まじわる・つながる・支えあう」を

テーマに地域包括ケアシステムを構築する準備を進めており、住民の皆さんといっしょに考えるため、2月4日、今年で3回目となるシンポジウムを開催しました。

地域の特性に合ったシステムの構築が求められるため、次のような課題と向き合いながら、「ならは版地域包括ケアシステム」を目指していきます。

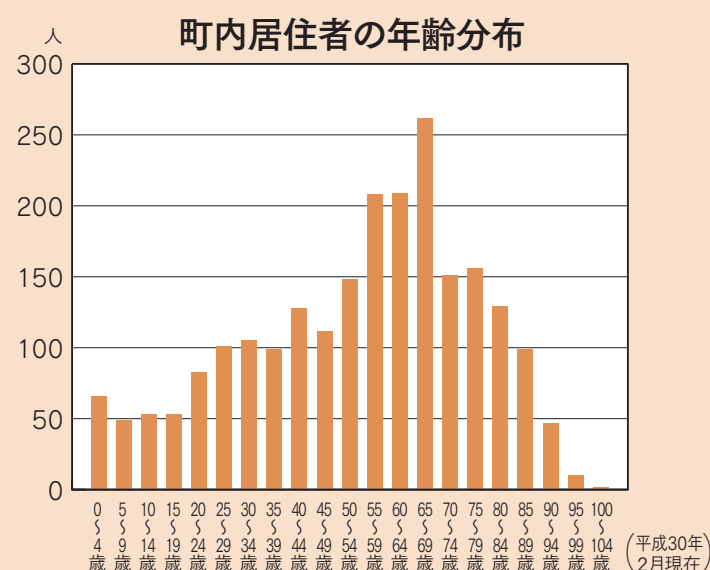
地域包括ケアシステム構築への課題

●コミュニティの再生

檜葉町の場合、震災と原発事故の影響に伴う避難生活により地域そのものが存在しない状態が長く続きました。避難指示が解除されて以降、住民の方の帰町が進んでいますが、再び人と人とが繋がって支え合える地域のコミュニティを再生する必要があります。

●深刻な高齢化

右のグラフは町内に居住している方の年齢を表したものです。60代以上の割合が非常に高くなっており、檜葉町は他の地域よりも早いスピードで高齢化が進むものと予想されています。



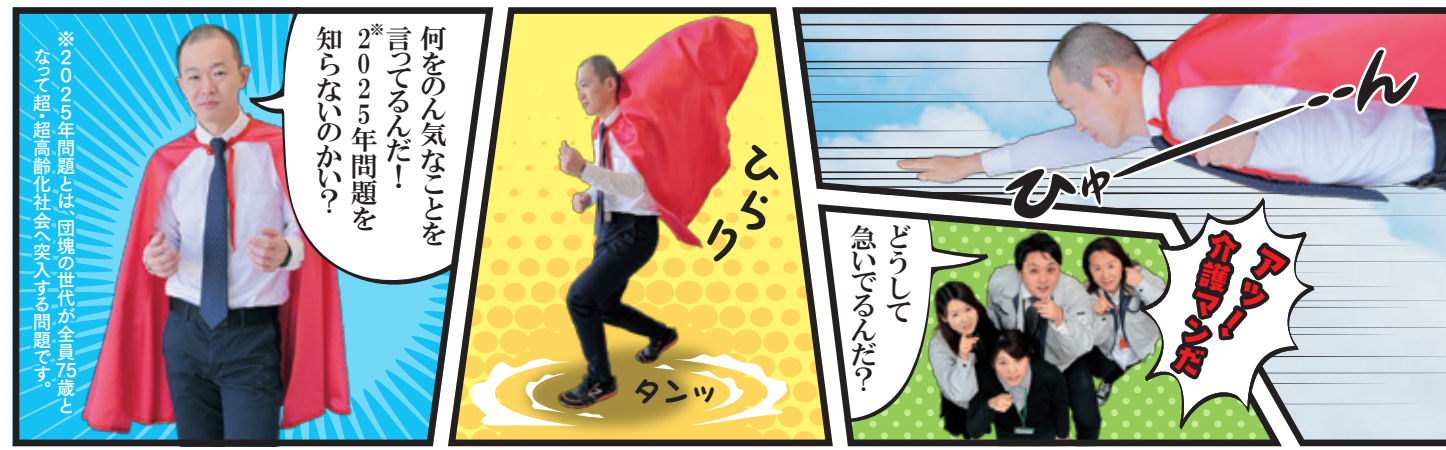
これらの課題をふまえ、第1部では、現在、町内(大谷・上小埜・下小埜・山田岡・大坂・結の里サロン)で行われている住民の皆さんの自主的な地域活動について報告していただきました。

続いて、第2部では「ならは井戸端大会議」と題して、これからの檜葉町について来場者が全員で

話し合いました。参加者からはユーモアたっぷりに活発な発言をいただき、楽しい井戸端会議となりました。

今後もシンポジウムなどを重ね、いつまでも地域で過ごすことができる仕組みについて、住民の皆さんといっしょに考えていきます。

お問い合わせ先 住民福祉課 介護保険係 ☎0240-23-6102



お薬の調整の実例

【70代男性Aさんの場合】

初回来院時
7種類10錠
1日3回



お薬の調整

調整後
3種類3錠
1日1回



Aさんは、高血圧のお薬や血液をサラサラにするお薬など、7種類ものお薬を処方されていました。しかも、1日に3度飲まなければならないため、「飲み忘れたらどうしよう」という不安を常を感じるようになり、気軽に外出することもできなくなってしまいました。

そんなある日、処方されたお薬の説明を薬剤師さんから受けた際に、思い切って「お薬の量が多い」と相談してみました。すると…、薬剤師さんはAさんの悩みをお医者さんに上手く伝えてくれて、Aさんは薬剤師さんといっしょにお薬の量を調整することになりました。

それまでは毎日10錠ものお薬を飲んでたAさんですが、今では3錠に減りました。しかも、薬を飲む回数も夕食後の1回になったので、日中の外出先でお薬のことを気にする必要がなくなり、外出を楽しめるようになったとのこと。めでたしめでたし。

①「調子が良いから」「知り合いの〇〇さんに言われたから」と、自己判断でお薬の量を調整するのではなく、**医師や薬剤師に相談しましょう。**

②お薬によっては、眠気を強く感じる場合があります。そのような状態で自動車を運転すると、重大な事故を起こしてしまうかもしれません。**自動車の運転は十分に気をつけてください。**

薬剤師さんの
ワンポイント
アドバイス



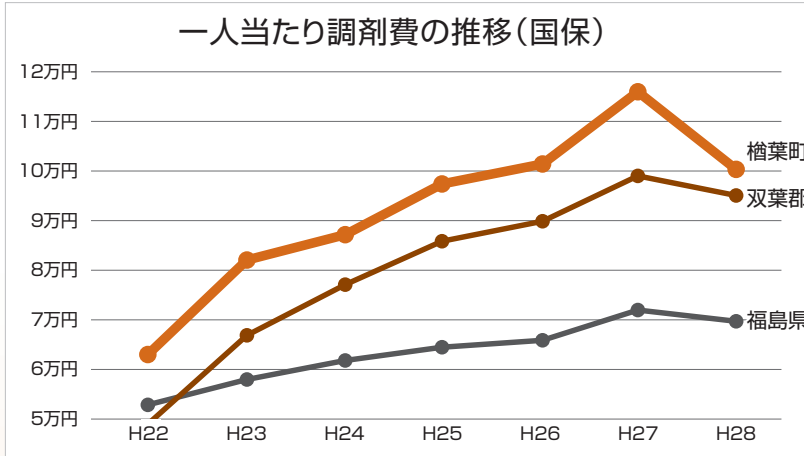
薬剤師の古畑さん
(ふたばリカーレ)

③湿布の貼り過ぎにも注意が必要です。湿布は痛み等のある部位にピッタリと貼ることによって効果を発揮するので、貼り過ぎは効果がないどころか、多量のお薬の成分によって副作用の原因となる場合があります。湿布の貼り方についても、気軽に薬剤師や医師に相談してください。

お薬問題は大きな社会問題

右のグラフは、国民健康保険に加入している方の1人当たりの調剤費(お薬代)の推移を示しています。

檜葉町は1人当たりの医療費(調剤費を含む)が高く、町は高額なお薬代を支払っています。特に、震災後は顕著に増加しており、1人当たりのお薬代は年間10万円を超えています。



自分のため、社会のため、お薬を大切にしましょうね。
かかりつけ薬局で、薬剤師さんと相談しながら「お薬の調整」をすることをお勧めします。
もうすぐ春です!美しい春を元気で迎えましょう。

玉ちゃんのホ・ホ・ホ保健室⑪

今月は、「お薬」について
お伝えしますよ♪

藤田君と二人でお伝えしてきた「ホ・ホ・ホ、保健室」も来月号で最終回!

私たち、少しは住民の
皆さんのお役に立てた
でしょうか?

さて、今月のテーマは「お薬」。
残薬、重複によるトラブルのほか、
医療費の面でも、「お薬」は現代の
大きな社会問題となっています。

お薬のあるある問題

残薬

複数の医療機関から処方されていたり、飲み忘れがあったりで、薬が余ってしまう。



重複

複数の医療機関から処方された薬を飲んでいたら、具合が悪くなってしまった。



不安

医療機関で調整してもらい、薬が以前より減ったら、不安を感じてしまった。



複雑

たくさんの薬が処方されていて、服用時間がいろいろなので、飲み忘れが多い。



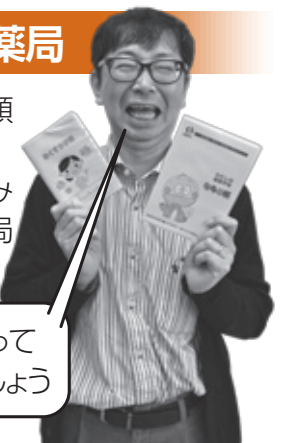
これらを解決するのは、かかりつけ医・かかりつけ薬局

日頃から安心して相談できる**かかりつけ医**を持ち、お医者さんの診断と処方信頼して、薬を飲み残さないよう、適正な服薬を心がけましょう。

また、気軽に相談できる**かかりつけ薬局**の存在も重要です。お薬の飲み方、飲み忘れた際の対処法、薬の重複まで、あなたの服薬に関してトータルに相談できる薬局をつくりましょう。お薬手帳をぜひご活用ください。

「医療費の負担を少しでも軽くしたい」とお考えの方は、ジェネリック医薬品(後発医薬品)を活用されてはいかがでしょうか。ジェネリック医薬品の価格は、新薬に比べて3割から5割程度安くなります。

必ず持って
いきましょう





「鬼は～そと、福は～うち」
鬼もたまらず降参です。



鬼は～そと! 福は～うち!

2月3日は節分。こども園では2月2日に豆まきを行いました。朝からソワソワしていた子どもたち。「オニが来たらね、『オニハソト!』ってやっつけるんだ!!」とやる気は満々!! でも、いざ鬼がみんなの前に現れると、大粒の涙を流して陰に隠れたり、必死に豆をぶついたり、ちょっとしたパニックに! それでも、何とかみんなで鬼をやっつけて、最後は仲良くなって、みんな笑顔で記念撮影をしました。

「おりこうさんになるから、もう来ないでね」
「いじわるしたり、お友だちとけんかしたりしないよ」
どうやら、子どもたちは自分の悪い鬼も退治できたようです。

そして、節分を過ぎると立春。

こども園では進級・進学を前にして、子どもたちの心にも春の気配が訪れています。



花壇のチューリップも芽を出しました。

みんなの未来が
明るい未来であることを
願っています。

あおぞらこども園通信



24時間365日 安心の救急医療

現在、双葉郡には24時間の救急搬送に対応し、手術や入院が可能な2次救急医療機関はありません。また、重症患者は南相馬市やいわき市へ1時間以上かけて搬送されており、こうした医療体制は住民の皆さんの大きな不安となっていました。

来月、富岡町に開院するふたば医療センター附属病院は、双葉郡の住民に大きな安心をもたらし、住民の健康増進に対する支援も行っていきます。

〈ふたば医療センター附属病院の概要〉

〔診療開始時期〕平成30年4月23日(月)予定

〔所在地〕富岡町役場北西側(富岡町大字本岡字王塚817-1)

〔病床数〕30床(全室個室) 〔診療科〕救急科・内科

〔対象患者〕●救急車で搬送された方

- 夜間、休日や祝日など地域の医療機関が開院していない時間帯に、急な発熱や腹痛などによりご自分で来院された方
- 地域の医療機関で対応困難な患者や入院等の措置が必要と判断され、当院を紹介された方

〔主な診療内容等〕●24時間365日救急医療を提供

- 地域の医療機関からの依頼を受け、訪問診療や訪問看護等
- 健康講座や研修会を開き、住民の健康増進を支援
- 放射性物質による汚染や被ばくを伴う患者への初期診療

〔多目的医療用ヘリ(平成30年度中に導入予定)〕

県立医科大学附属病院をはじめとする県内の救急医療機関との連携強化を図るため、日中はヘリコプターが常駐し、救急患者や医療スタッフ等の緊急搬送を行います。

ふたば復興診療所(ふたばリカーレ)について

ふたば復興診療所(ふたばリカーレ)は、平成30年4月から「福島県ふたば医療センター附属ふたば復興診療所」として、附属病院と一体的に運営されます。

このため、現在、ふたば復興診療所(ふたばリカーレ)で行っている日曜・祝日の救急対応は、4月23日(月)からふたば医療センター附属病院に移りますのでご注意ください。



〔お問い合わせ〕福島県病院局 病院経営課 ☎ 024-521-7228(直通)

公設商業施設「ここなら笑店街」の開業時期について

北田字中満地内に整備を進めている公設商業施設「ここなら笑店街」につきましては、平成30年春を開業予定としていたところですが、昨年大雨等の天候不順や、造成工事と建築工事等を同時並行で実施することによる現場の複雑さなどから、各工事に遅延が発生したため、開業時期が6月となる予定です。

帰町をお考えの町民及び関係者の皆様にはご不便をおかけすることとなり、大変申し訳ありません。町といたしましても、一日でも早く開業できるよう最大限努めておりますので、ご理解ご協力いただけますようお願いいたします。

●お問い合わせ先／新産業創造室 ☎0240-23-6105

平成30年
3月26日
(月)から

**富岡労働基準監督署と
ハローワーク富岡が富岡町で業務を再開**

広野町にある富岡労働基準監督局仮事務所及びいわき市内にあるハローワーク富岡仮事務所が、震災前の庁舎に移転し、業務を再開します。

なお、広野サテライト(広野みらいオフィス2階)の相談窓口は、3月26日以降も継続しますが、雇用保険失業給付認定業務はハローワーク富岡で行われますのでご注意ください。

平成30年3月26日以降の連絡先

- 富岡労働基準監督署
〒979-1112
双葉郡富岡町中央2丁目104
☎0240-22-3003(代表)
- ハローワーク富岡
〒979-1111
双葉郡富岡町大字
小浜字大膳町109-1
☎0240-22-3121(代表)

厚生労働省福島労働局委託事業
「福島雇用促進支援事業」

福島広域雇用促進支援協議会からのお知らせ

就職活動についての悩みや不安を相談してみませんか？
ひとりで悩まず、ご相談ください。

【電話相談】【メール相談】【窓口相談】によって、相談員が対応します。

【電話】フリーダイヤル 0120-810-650
受付時間：平日9時～12時、13時～16時30分

【メール】専用フォーム(<http://fkkoyou.net/>)から24時間受付中

【窓口】※予約制(フリーダイヤルにお問い合わせください)

福島広域雇用促進支援協議会
福島統括窓口
福島市中町4番20号みんなのビル202号
☎ 024-524-2121
FAX 024-524-2125
ホームページ
働きたいネット

おめでとうございます

氏名	保護者名	行政区
さいとう 齋藤 ふみ 芙実	敬史	下井出
まつもと 松本 てっしょう 鉄生	晃一	上繁岡
おざわ 小澤 そうすけ 奏亮	隆司	繁岡

(広報ならは2月号掲載以降にお生まれになられた方)

お悔やみ申し上げます

氏名	年齢	行政区	氏名	年齢	行政区	氏名	年齢	行政区
川嶋千恵子	85	上井出	矢内ヤイ子	89	前原	渡邊 ミネ	84	波倉
工藤 一幸	76	上小埜	山田 博英	87	北田	永山 歌子	88	山田岡
渡辺シツヨ	85	下井出	佐藤 馨	86	松館	西山 榮一	90	上小埜
船迫 勲	87	旭ヶ丘	(広報ならは2月号掲載以降亡くなられた方)					

■1月31日現在 ●世帯数 2,935世帯 ●7,140人(男:3,596人 女:3,544人)

お急ぎください！

平成30年度
**住民税の申告・所得税の
申告相談は3月15日(木)まで**

町が行う平成30年度町県民税の申告(平成29年1月1日から同年12月31日までの1年間に生じた収入及び所得)及び所得税の申告相談は3月15日までです。お早目の申告をお願いします。

受付会場	桧葉町コミュニティセンター 大会議室
受付日時	3月15日(木)まで 午前9時～午後4時 ※土、日を除く ※3月12日(月)～14日(水)は、午後7時まで ※最終日の3月15日(木)は、正午まで

●お問い合わせ先／税務課 ☎0240-23-6101

戦没者のご遺族の皆様へ
**第10回特別弔慰金の
請求期限は、平成30年
4月2日(月)です。**

請求期限を過ぎるとこの権利が失効しますので、忘れずに請求してください。

●請求・お問い合わせ先／
住民福祉課 社会福祉係
☎0240-23-6102

タブレットの新規お申込み、まだまだ受付中！

今年度からの新しいタブレットは通信料(1,946円/月)を自己負担していただいておりますが、スマートフォンやパソコンをお使いでない方に、ぜひご利用をお勧めします。

難しくそう…

決してそんなことはありません。私たちが何度でもゆっくり説明します。自信がなくても迷っていても、一度私たちに電話をかけてみてください。お待ちしておりますよ。

今からでも大丈夫！お電話を！

●すでにご利用の方は、講習会への参加をお待ちしています。

日程	時間	場所
3月12日(月)	9:30～	桧葉 あおぞらこども園 サロン「ふらっと」
3月14日(水)	10:00～	いわき サポートセンター「空の家」

タブレットご利用の皆様へ
いつもご利用いただき、ありがとうございます。郵便を必ずお届けできるよう、居住地を変更した場合は、お手数ですがタブレットコールセンターにもご連絡をお願いいたします。

●お問い合わせ先／政策広報室 ☎0240-23-6150
タブレットコールセンター ☎0800-800-0733

**旧タブレットや携帯電話を
オリンピックメダルに！**

(公財)東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会は、東京2020大会で使用するメダルについて、一般の人が持っている使用済み携帯電話等の小型家電等から製作する「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」を実施しています。

使用済みのタブレットや携帯電話等をお持ちの方は、メダルの一部として役立ててみませんか。桧葉町役場、または、全国のドコモショップで回収しています。

●お問い合わせ先／
政策広報室
☎0240-23-6150

**「コカ・コーラ FIFA
ワールドカップ
トロフィーツアー」**

J-VILLAGE

訪問地決定投票、あなたの1クリックを！

「FIFA ワールドカップ トロフィーツアー」は、4年に1度開催されており、世界でたった1つしかないFIFA ワールドカップ オリジナルトロフィーが、日本では4月27日(金)から30日(月)の4日間で、東京、大阪、そして訪問地候補から選ばれた計3か所を巡ります。

現在、Jヴィレッジは、このツアーの訪問地候補のひとつに選定されていますが、訪問地は皆さんの投票によって決定します。

訪問地決定投票

- 投票期間:3月5日(月)～3月31日(土)
- 投票方法:「コカ・コーラ FIFA ワールドカップ トロフィーツアー」公式サイトから

【URL】<https://secure.cocacola.jp/trophy2018/>

●報道関係お問い合わせ先／株式会社Jヴィレッジ 広報 猪狩
☎0240-26-0111 E-mail:info@j-village.jp <http://j-village.jp/>

**いわき出張所
会津美里出張所の終了について**

いわき出張所及び会津美里出張所は、平成30年3月30日(金)で終了いたします。

4月2日(月)から、各種証明書などの申請窓口は桧葉町役場のみとなりますので、ご注意ください。

●お問い合わせ先
いわき出張所 ☎0246-25-5561
会津美里出張所 ☎0242-54-6444

環境省からのお知らせ

桧葉町の被災家屋等の解体については、平成26年10月に解体工事に着手しており、平成30年度中の完了を目指して進めているところです。

桧葉町役場内に環境省が開設している窓口においては、被災家屋等(荒廃家屋を含む)の解体に係るご相談の受付を今年度末をもって終了しますので、ご相談等のある方はお早めにお問い合わせください。

【環境省除染等に関する相談窓口】
☎0120-02-6136
※環境省の窓口は4月以降も引き続き継続してまいります。

瑞巖寺の総門をくぐって境内へ
(1月20日松島)

Information

ならは スポーツクラブ

磐梯山をバックに、スノーハイキング組
(2月3日スノースクール)

スキー・スノーボード組集合!
(2月3日スノースクール)

基礎からしっかり教わりました。
(2月3日スノースクール)

いつになく寒いこの冬ですが、天神岬の梅も咲き、春は確実に近づいていますね。

スポーツクラブでは、3月1日から平成30年度会員募集が始まっています。通常の教室に加え、今年度から始まった「フラワーアレンジメント」、新規の「ソフトバレーボール教室(檜葉)」、またグラウンドゴルフのイベントなど盛りだくさんの内容となっていますので、心と体の健康づくりに、スポーツクラブの活動をぜひご活用ください。皆さんのご加入、お待ちしております!!

【軽登山教室】

平成30年度第1回目の軽登山教室は、震災後初めて相馬の山を歩きます。

カタクリやイワウチワなど春の山野草が彩る登山道を登ると、眼下に太平洋が広がります。

- 期 日/4月14日(土)
- 場 所/塩手山(相馬市)282m
- 定 員/27名(定員となり次第締め切ります。)
- 参加費/3,000円
(入浴する場合は別途実費となります。)
- 申 込/3月19日(月)9:00から

【ウォーキング教室】

平成30年度のウォーキングは、喜多方市から始まります。

旧国鉄日中線の線路跡地に植えられた、約1千本のしだれ桜並木を歩きましょう。

- 期 日/4月26日(木)
- 場 所/日中線記念自転車歩行者道
しだれ桜並木(喜多方市)
- 定 員/27名(定員となり次第締め切ります。)
- 参加費/3,000円
(昼食を取る場合は別途実費となります。)
- 申 込/4月2日(月)9:00から

集合場所(いわき) 変更のお知らせ

4月から、軽登山・ウォーキングなどバス移動を伴う教室の集合場所は、いわき公園駐車場(光洋高校向い側)になります。

重要なお知らせ

ーソフトバレーボール教室についてー

「広報ならは2月号」及び「お知らせならは2月号」に同封したチラシでお知らせした新規の「ソフトバレーボール教室」は、4月開講を予定していた「いわき会場」がなくなり、「檜葉会場」のみの開講(5月)となります。

予告 「グラウンドゴルフ交流会」 5月開催予定

◆現会員の皆さんへ◆ 「総会」を開催します。

クラブに対するご意見・ご要望など、皆さんの生の声をお聞かせください。

- 日 時/3月24日(土)午後1時30分
- 場 所/檜葉まなび館

お問い合わせ・お申込み先●ならはスポーツクラブ(檜葉まなび館内) ☎0240-26-0076



第67回

こちらJヴィレッジ フィットネスジムです。

皆さん、こんにちは!まだまだ寒い日が続いていますが、いかがお過ごしでしょうか?今回は、ジムをご利用いただいているお客様に、ジムでの思い出やJヴィレッジ再開に向けての想いなどをインタビューしてみました♪

突撃 インタビュー



左:大和田洋陽さん 右:金井弘樹さん

質問① ジムに来て自分の「ここが変わったな」「良かったな」と感じることは何ですか?

[大和田さん]食事の内容を気にすることが多くなってきた!トレーニングの際は必ずプロテインを摂取して、たんぱく質を補給しています!

[金井さん]生活習慣の見直しをするようになって、体の変化を感じました。あと、トレーニングの仲間が増えました!

質問② Jヴィレッジ再開に対して期待することは?再開後も引き続きご利用されますか?

[大和田さん]ぜひ利用します♪これまで通り、地域密着型のスタイルを貫いて、檜葉を盛り上げてください!

[金井さん]必ず利用します!!新しいマシンに期待します(笑)

質問① Jヴィレッジフィットネスジムでの思い出は?

檜葉町の方とはもちろんのこと、双葉郡やいわき市の方など、いろいろな地域の皆さんとのコミュニティが広がり、楽しく運動することができました!!

質問② ジムに来て「自分のここが変わったな」「良かったな」と感じることは何ですか?

ダイエットに成功しました♪体重を15kg減らすことができました!今後も継続して、体型維持のためトレーニングを続けていきます(^^)/

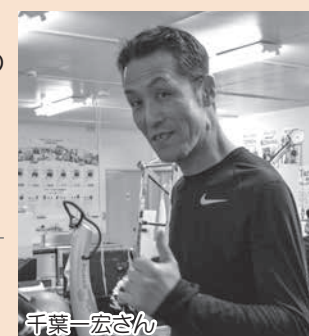


鈴木希望さん

質問① Jヴィレッジフィットネスジムでの思い出は?

いつもアットホームな雰囲気です!檜葉町の同級生たちに再会することができました!

質問② ジムに来て「自分のここが変わったな」「良かったな」と感じることは何ですか?スタッフの皆さんのおかげでジムに行くのが楽しかった。だからこそ、筋トレを続けることができました!!体脂肪を落とすことに成功しました!



千葉一宏さん



Jヴィレッジは
今年7月28日の再開を
予定しています。
また、お会いしましょう!

☆ Jヴィレッジフィットネスジム閉店のお知らせ ☆

いわき市で営業しているJヴィレッジ仮設フィットネスジムは、7月のJヴィレッジ営業再開に伴い、3月31日をもちまして営業を終了します。5年半もの長い間、皆様からの多大なるご厚情に心から御礼申し上げますとともに、閉店いたしますことをお詫び申し上げます。

残すところ、わずかとなりましたがご満足いただけるようなサービスを提供させていただきますので、最後までご愛顧賜りますようお願いいたします。

◆ ◆ Jヴィレッジフィットネスジム ◆ ◆

[住所]〒970-0225 いわき市平上山口字小喜目作34-1 ☎0246-46-0201



Jヴィレッジフィットネスジムトレーナー
遠藤 健
(えんどう けんいち)
●好きな食べ物:寿司
●座右の銘:「努力に勝る天才なし」

町で実施した自家消費食品等の放射能簡易検査結果

1月1日から1月31日までに農林水産物処理加工施設で実施した食品等の放射能検査結果の集計となります。

食品分類(基準値)	19検体中、基準値超件数 7 食品名(基準値超件数／検体数)最小値～最大値(Bq/kg)				
野菜(100) (0/4)	きゃべつ (0/1) ND	大根 (0/1) ND	白菜 (0/2) ND		
その他(100) (7/15)	猪肉 (7/7) 465.99～1,982.84	米 (0/1) ND	くるみ (0/2) ND	たくあん (0/1) ND	柚子 (0/1) 36.32
	干し柿 (0/3) 12.58～29.81				

※区分は県の区分に従いました。色字は検査した食品のうち国の基準を超えた検体数です。
※国の基準(平成24年4月1日施行)は、一般食品で1キログラムあたり100ベクレル、飲料水で10ベクレル、牛乳や乳児用食品は、50ベクレルです。
※依頼された検査品の最小値と最大値を記載しています。
※「ND」は「Not Detected」の略です。「不検出」の意味で、検出限界以下であることを示す場合に用います。
※従来の詳細な測定値の表は、ホームページで随時公開していきます。

お問い合わせ先： 産業振興課 ☎0240-23-6104 自家消費食品等簡易測定所 ☎0240-23-6557

檜葉町公共施設等モニタリング調査実施結果(2月実施分)

- 1 調査期間

2 測定器

3 測定方法

4 測定結果
- 平成30年2月1日

Nalシンチレーションサーベイメータ(空間放射線量率測定用サーベイメータ)を使用

地表面から高さ1m及び高さ1cmの空間線量率を測定(測定はくらし安全対策課職員が実施)。
測定器を水平に保ち、約30秒ほど経過させて測定値が安定したことを確認し、10秒ごとに測定値を5回読み取り、その平均値を記載する(県指定測定方法に基づき実施)

測定箇所		測定値(μSv/h)	
		地上1.0m	地上1.0cm
		今月測定値	今月測定値
檜葉町役場	(玄関前)	0.09	0.10
檜葉町公民館	(玄関前)	0.09	0.09
ここなら商店街入り口	(駐車場)	0.10	0.10
檜葉町コミュニティセンター	(ロータリー)	0.18	0.21
秋平地区集会所	(駐車場)	0.15	0.17
浄光西地区集会所	(駐車場)	0.19	0.20
向ノ内地区集会所	(駐車場)	0.16	0.24
下繁岡地区集会所	(駐車場)	0.13	0.12
営団地区集会所	(駐車場)	0.14	0.13
波倉地区集会所	(駐車場)	0.18	0.19
ぼらぐち(自宅門扉前)	(駐車場)	0.21	0.18
[未除染]鞍掛山	(山頂付近)	—	—

※全測定結果は、ホームページから閲覧することが出来ます。
※平成29年5月調査より、測定箇所を概ね北部と南部に分けて2か月に1度の測定に変更いたしました。
2月は北部の測定結果を掲載いたします。

お問い合わせ先：くらし安全対策課 放射線対策係 ☎0240-23-6109

檜葉町仮設焼却施設における廃棄物処理状況(環境省からのお知らせ)

1 廃棄物処理状況 (1) 仮設焼却施設処理 (2) 除染仮置場からの搬出状況 【平成30年1月末時点】

総処理量		53,687t
※総処理量には、埋却牛442頭を含む。		

仮置場	運搬量(袋)	搬出工程(予定)	搬出状況
上小端	16,039	H29.10～H30.1	終了
大谷(山根)	5,922	H29.12～H30.2	運搬中

各種モニタリング結果について			(2) 放射性物質濃度測定結果	
(1) 焼却灰			モニタリング項目	
主 灰	放射性物質濃度(Bq/kg)	総発生量	測定日	測定結果
	1,800～71,000※1	約8,033t	1月21日	ND(0.9)※2
飛 灰	6,600～83,000※1	約2,891t		ND(0.9)※2
				Bq/m ³
地下水(下流)			1月22日	ND(0.96)※2
				Bq/L
				ND(1.1)※2
				Bq/L

	仮設焼却施設入口	仮設焼却施設管理棟前	仮設灰保管施設東側	単位	※1：放射性物質濃度は焼却開始からの累計です。 ※2：NDとは検出下限値()内の数値]未満を意味します。
施設稼働前(H28.10.1～10.22)	0.130～0.139	0.132～0.153	0.175～0.183	μSv/h	
施設稼働後(H30.1.1～1.31)	0.097～0.132	0.119～0.150	0.158～0.191	μSv/h	

お問い合わせ先：環境省 福島地方環境事務所 減容化施設整備課 ☎024-563-6954

除染廃棄物仮置場管理状況

【平成30年1月31日まで】

No.	仮置場名	空間線量 1m ※1 (μSv/h)	除去物内部 温度測定 (℃)		通常巡回 異常時巡回 地下水測定 浸出水測定 ガス濃度測定 について	廃棄物内訳							
			平均値	最大値		個数(個)				放射能濃度			
						0 Bq/kg から 0.8万Bq/kg	0.8万Bq/kg から 10万Bq/kg	10万Bq/kg から 50万Bq/kg	小計	最大		平均	
										(Bq/kg)	(μSv/h)	(Bq/kg)	(μSv/h)
①	波倉	0.13	—	—	異常なし	30,037	4,280	20	34,339	320,000	74.0	5,200	1.22
②	営団	—	—	—	—	5,935	3,324	16	9,278	180,000	42.0	8,800	2.04
③	下繁岡	0.11	—	—	異常なし	2,512	281	2	2,796	120,000	27.5	3,800	0.87
④	繁岡	0.15	—	—	異常なし	2,135	7,188	19	9,342	280,000	65.0	12,000	2.72
⑤	上繁岡	0.14	—	—	浸出水3.0Bq/L計測	12,773	13,819	41	26,633	140,000	31.9	10,800	2.68
⑥	松館・旭ヶ丘(滝前)	0.13	10.0	13.5	異常なし	13,152	11,002	2	24,160	130,000	29.8	8,300	1.91
⑦	松館・旭ヶ丘(所布)	0.13	14.3	30.3	異常なし								
⑧	女平(1)	0.15	7.9	21.0	異常なし	7,316	6,333	20	13,669	180,000	41.0	8,300	1.90
⑨	女平(2)(中平水無)	0.15	7.8	10.6	異常なし								
⑩	下小壠(日暮国有林)	0.11	※2	※2	異常なし	4,366	438	4	4,808	130,000	30.0	4,100	0.95
⑪	下小壠(清水)	—	—	—	—	0	0	0	0	0	0.0	0	0.00
⑫	上小壠(大師作)	0.08	—	—	異常なし	10,268	589	1	10,859	110,000	24.7	3,000	0.71
⑬	大谷(山根)	0.12	10.4	15.1	異常なし	14,825	3,588	10	18,424	180,000	40.2	5,900	1.37
⑭	大谷(山岸・仲田)	0.09	—	—	異常なし	118	5	0	123	10,000	2.1	2,500	0.57
⑮	上井出	0.13	6.6	12.2	浸出水1.2Bq/L計測	35,754	4,683	4	40,441	110,000	25.5	4,500	1.06
⑯	下井出	0.08	9.0	15.8	浸出水2.1Bq/L計測	47,131	1,285	2	48,418	150,000	34.0	2,500	0.58
⑰	前原(海法地付念田)	0.08	—	—	異常なし	68,658	359	2	69,019	160,000	11.1	1,700	0.40
⑱	山田岡	0.10	9.3	16.5	異常なし	38,701	1,327	12	40,040	370,000	84.0	3,000	0.70
⑲	山田浜	0.08	—	—	異常なし	29,836	378	12	30,226	430,000	99.0	1,800	0.42
⑳	北田(金堂地)	0.08	※2	※2	異常なし	15,231	195	0	15,426	100,000	22.2	1,900	0.44
㉑	北田(大道下)	0.11	—	—	異常なし	14,196	383	1	14,580	110,000	24.8	3,100	0.72
㉒	大坂	0.13	—	—	異常なし	694	242	1	937	120,000	26.5	7,200	1.29
㉓	乙次郎	0.14	—	—	異常なし	0	0	0	0	0	0.0	0	0.00
計						353,638	59,699	169	413,518	430,000	99.0	4,500	1.03
比率						86%	14%	1%未満	100%				

※1:1mの高さで仮置場入口付近空間線量率を測定
※2:⑩ ㉑については可燃物がないため温度計未設置

※1：1mの高さで仮置場入口付近空間線量率を測定
※2：⑩、㉑については可燃物がないため温度計未設置
注1：除染廃棄物放射能濃度は除染廃棄物を保管するフレコンの表面1cmの空間線量率からガイドラインに沿って換算。
注2：廃棄物ガイドラインにより0.7 μSv/h→3千Bq/kg、1.8 μSv/h→8千Bq/kg、6.9 μSv/h→3万Bq/kg、23 μSv/h→10万Bq/kg
57 μSv/h→25万Bq/kg、115 μSv/h→50万Bq/kgにそれぞれ換算。
注3：10万Bq/kgを超える廃棄物は、道路除染等に使用した水から放射性物質を除去・濃縮した廃棄物と考えられる。

お問い合わせ先：環境省福島地方環境事務所 浜通り南支所 ☎0240-25-8993

ならはカレンダー(平成30年3月)
 MARCH.2018

日	月	火	水	木	金	土
4	5	6 3月議会定例会 (役場3階議場)	7 元気アップ教室 (サロン「ふらっと」) 13:00～15:00	8	9 気軽にちょこっと貯筋 (保健福祉会館) 10:00～11:00 いいやんべ教室 (榎葉まなび館) 10:00～11:30	10
手づくり作品展示会 (榎葉まなび館) 1日～11日 10:00～16:00	ペット・ブラ	可燃			可燃	
11 榎葉町東日本大震災 追悼式 (役場大会議室) 13:30～ 第9回ナラノワ祭 (榎葉まなび館) 10:00～16:00	12 タブレット講習会 (サロン「ふらっと」) 9:30～	13 気軽にちょこっと貯筋 (保健福祉会館) 10:00～11:00 中学校卒業式	14 タブレット講習会 (空の家) 10:00～ 元気アップ教室 (サロン「ふらっと」) 13:00～15:00	15 もろもろ塾:そば打ち (サロン「ふらっと」) 10:00～14:00 太極拳 (榎葉まなび館) 13:30～15:00 最終日 平成30年度申告相談 (コミュニティセンター大会議室)	16 あおぞらこども園卒園式	17
ペット・ブラ	可燃		不燃・カン	可燃		
18	19	20	21 春分の日	22 住まいの復興給付金 申請相談会 (公民館1階) 10:00～16:00	23 気軽にちょこっと貯筋 (保健福祉会館) 10:00～11:00 小学校卒業式	24
ペット・ブラ・粗大	可燃				可燃	
25	26	27	28 元気アップ教室 (サロン「ふらっと」) 13:00～15:00	29	30	31
ペット・ブラ	可燃				可燃	
4月1	2	3	4	5	6 小、中学校入学式	7 あおぞらこども園入園式

編集後記

今月は13、14ページで「いいまちつくるマン」が登場しました。
 今回は、高齢になっても幸せに暮らせるまちづくりを担う「介護マン」を紹介しまし
 ましたが、役場職員全員がそれぞれの業務において「いいまちつくるマン」です。120人の
 「いいまちつくるマン」は町の平和を守り、未来を
 輝かせるために、力いっぱい闘います。
 今後も折にふれ、「いいまちつくるマン」が情熱
 を表す真っ赤なマントをなびかせて、町の取り組み
 などをお伝えしますので、応援していただけたらう
 れしいです。 (みんなに伝えるマン)

全力疾走!

榎葉町内居住者集計表(H30.1.31現在)

【住民基本台帳人口】

世帯数	男	女	人口(外国人含む)
2,935	3,596	3,544	7,140

【町内居住者】

行政区	世帯数	人数	行政区	世帯数	人数
上井出	166	320	上小堀	65	129
下井出	143	187	下小堀	113	237
北 田	174	332	山田岡	193	367
大 谷	65	127	前 原	24	52
松 館	24	46	山田浜	32	76
上繁岡	32	71	椴木下	0	0
旭ヶ丘	1	1	女 平	13	24
繁 岡	52	80	大 坂	8	17
下繁岡	49	94	小 計	448	902
波 倉	10	17	合 計	1,213	2,270
営 団	48	92			
乙次郎	1	1			
小 計	765	1,368	町内居住率	世帯 41.33%	人 31.79%

【町内居住者年代別集計表】

	人数		人数
0～4歳	66	60～64歳	209
5～9歳	49	65～69歳	262
10～14歳	53	70～74歳	151
15～19歳	53	75～79歳	156
20～24歳	83	80～84歳	129
25～29歳	101	85～89歳	99
30～34歳	105	90～94歳	47
35～39歳	99	95～99歳	10
40～44歳	128	100～104歳	2
45～49歳	112	合 計	2,270
50～54歳	148		
55～59歳	208		

榎葉町内居住者について

- ① 町内居住者数／当月末の町内に居住する者の数。
 ② 町内居住率　／当月末の住民基本台帳人口に対する町内居住者数の割合を町内居住率とする。

$$\text{町内居住率}(\%) = \frac{\text{町内居住者数}}{\text{住民基本台帳人口(月末)}}$$

水道水中における放射性物質のモニタリング結果

- 採 水 場 所:小山浄水場
 ■水　　　源:木戸川(ダム放流水)
 ■採水年月日:平成30年1月1日～31日

ヨウ素131	セシウム134	セシウム137
ND	ND	ND

※いずれの検体も、1月31日時点で放射性物質は不検出です。
 ※「ND」とは、一定の条件で測定機器が検出できる最小値(1Bq/kg)未満であることを示しています。

《参考》検査日現在の目標値	(単位:Bq/kg)		
	ヨウ素131	セシウム134	セシウム137
食品衛生法の規定に基づく 新たな基準による目標値	—	10	

※これまで暫定規制値が設定されていた放射性ヨウ素については、半減期が短く、国に平成23年7月15日以降の検出報告がないことから、規制の対象から除外されました。

- 採 水 場 所:北林配水池
 ■水　　　源:寺下・中川原水源池(浅井戸・伏流水)
 ■採水年月日:平成30年1月1日～31日

ヨウ素131	セシウム134	セシウム137
ND	ND	ND

測定機関:双葉地方水道企業団　／　分析装置:ゲルマニウム半導体検出器
 検査頻度:毎日　／　測定方法:水道水等の放射能測定マニュアル(厚生労働省)

浄水場を見学してみませんか?
 双葉地方水道企業団では、「どのようにして安全な水道水が作られているか」を皆さんに直接ご覧いただき、水道水の安全・安心を再確認していただくことを目的に、浄水場の見学を随時受け付けています。ご家族やお友達同士、学校・企業など、どのようなグループでもOKです!まずは、お電話にてご相談ください。

見学のご相談・お申し込みは
 双葉地方水道企業団　総務課総務係 ☎0240-25-5315)まで

【双葉地方水道企業団から凍結防止のお願い】
 気温が氷点下を下回ると、水道管や水道メーターが凍結して破損する恐れがあります。水道管は毛布などで包みビニールテープで固定し、メーターボックス内には布切れなどを入れたビニール袋を結めるなど、早めの凍結防止準備をお願いします。

下水道施設のモニタリング検査結果

下水道施設へ流入する汚水や処理後の放流水、処理に伴い発生する脱水汚泥や施設付近の河川水について、月1回の検査を実施しております。

(検出限界値:1Bq/L)						
試料採水日	試料名	天気	検出器	Cs-134	Cs-137	Cs合計
1月9日	井出川河川水	雨	Ge半導体検出器	ND	ND	—
	北地区浄化センター流入水		Ge半導体検出器	ND	ND	—
	北地区浄化センター放流水		Ge半導体検出器	ND	ND	—
	山田川河川水		Ge半導体検出器	ND	ND	—
	南地区浄化センター流入水		Ge半導体検出器	ND	ND	—
	南地区浄化センター放流水		Ge半導体検出器	ND	ND	—

(検出限界値: 10Bq/kg)

試料採取日	試料名	天気	検出器	Cs-134	Cs-137	Cs合計
1月5日	北地区浄化センター脱水汚泥	晴	Ge半導体検出器	8.1	62	70.1
	南地区浄化センター脱水汚泥		Ge半導体検出器	15	130	145

■お問い合わせ先：建設課　都市計画係　☎0240-23-6106

3月いっぱい、いわき出張所及び 会津美里出張所は終了します。

いわき出張所及び会津美里出張所は、平成30年3月30日(金)で終了いたします。
このため、4月から、各種証明書などの申請窓口は檜葉町役場のみとなりますので、
ご注意ください。

4月から、仮設住宅等対策室を設置します。

4月以降、「仮設住宅等対策室」を設置し、当面の間、現在のいわき出張所で、特定
延長世帯の相談業務などを行います。(※各種証明書などの発行は行いません。)

お問い合わせ先

いわき出張所 TEL 0246-25-5561
会津美里出張所 TEL 0242-54-6444



町長 コラム MAYOR'S COLUMN Vol.4

どうぞ、くれぐれも

4月8日(日)は大瀧神社の浜下りだそう
です。今年は震災後初めて、神輿が出るそう
ですが、こうした行事の復活は何よりも
うれしいものです。

子どもの頃、祭りの日にはご馳走が食べら
れたり、神輿を担いだり、心が躍りました。
祭りには特別な空気があって、その感覚は
大人になっても消えないものです。

さて、まもなく仮設住宅等の供与が終了
し、今月は、町に戻られる方や新たな地に
生活を再建される方が多いと思います。
避難してからすでに7年もの時が過ぎて
おり、この間には、今の地での生活基盤がで
きておられるはず。それらを整理して
次に進むことは、様々な面で負担が大き
いことと思います。どうぞ、くれぐれも無事
に移動をされますようお願いいたします。

一定程度の方が町に戻られるこの春が、
檜葉町にとって本当のスタート。多くの方
と新しいスタートを切ることができま
すよう期待するとともに、帰町できない方も
含めたすべての方が、希望に満ちた春を
迎えられることを祈ります。



檜葉町役場
連絡先一覧

檜葉町役場本庁舎

- 総務課 ●税務課 ●住民福祉課 ●復興推進課 ●政策広報室
- 産業振興課(農業委員会含む) ●新産業創造室 ●建設課
- くらし安全対策課 ●出納室 ●議会事務局

〒979-0696
双葉郡檜葉町大字北田字鐘突堂5-6
TEL 0240-25-2111 FAX 0240-25-5564
☎ 0120-562-171(フリーダイヤル)
E-mail: naraha@town.naraha.lg.jp
【土日祝日は日直対応 8:30~17:15】

3月いっぱい終了します。

いわき出張所

〒970-8036 いわき市平谷川瀬1丁目1-1
TEL 0246-25-5561
FAX 0246-25-5564
E-mail: naraha@town.naraha.lg.jp
【土日祝日の日直業務は終了しました】

会津美里出張所

会津美里町
宮里応急仮設住宅南集会所内

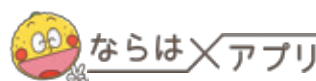
〒969-6207
大沼郡会津美里町字宮里97
TEL 0242-54-6444
FAX 0242-55-0520
E-mail: misato-n@town.naraha.lg.jp

檜葉南小学校(檜葉まなび館)

教育総務課は南小に!

- 教育総務課(体育協会含む)
- ならはスポーツクラブ

〒979-0514
双葉郡檜葉町大字下小塙字麦入31
TEL 0240-23-6190
FAX 0240-23-6192
E-mail: kyoiku-n@town.naraha.lg.jp



Android



iOS



檜葉町公式ブログ
ところ、つなぐ、ならは

<http://ameblo.jp/naraha7700/>



檜葉町
公式 Facebook

<https://www.facebook.com/kokoro.tsunagu.naraha>